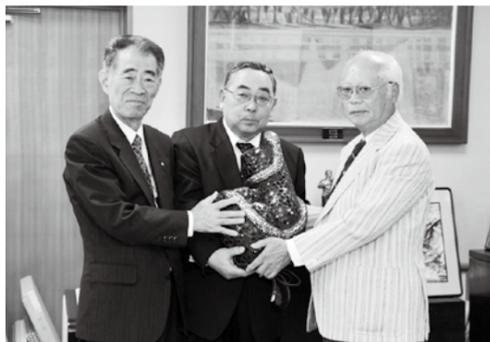




学びいなに新しい芸術作品

松崎徹さんが町に受賞作品を寄贈



津金町長と土屋教育長に作品を手渡す松崎さん(右)

町内でステンドグラス工房を営む松崎徹さん(沼尻)は9月29日、町役場を訪れ、自身が制作したステンドグラス作品を寄贈しました。寄贈した作品は16年(2004年)に制作した「Snake 蛇」。フランス・パリのルーブル美術館で開かれた「パリ・美の解放展」に出品し最高賞にあたる「プレミア賞」を受賞した作品です。

「多くの町民に見てもらいたい」と話す松崎さんから作品を受け取った津金町長は、「ステンドグラスを立体化した松崎さんの独創性、芸術性に触れる貴重な資料として大事にしたい」と謝辞を述べました。この作品は学びいなに展示されます。

猪苗代湖の水環境のために

カメリーナに募金付き自販機設置



設置式典でのテープカットの様子

福島中央テレビ(FCT)は10月6日、「猪苗代湖をきれいにしよう」キャンペーンの一環として、カメリーナに寄付金型自動販売機を設置しました。これは同キャンペーンの第1号で、サントリーフーズの協力を得て設置。販売機での売り上げ1本につき1円が、猪苗代湖の水環境保全活動への寄付金となり、FCTを通じて活動団体へ寄付されます。

同日行われた設置式典で津金要雄町長は「これを機により多くの町民や県民の力が集結し、水質回復につながれば」とあいさつ。一層の環境改善に期待を込めました。

冬を控え防火の誓い新たに

県消防協会猪苗代支部が秋季検閲



検閲官などによる通常点検を受ける消防団員ら

県消防協会猪苗代支部(土屋孝彦支部長)の秋季連合検閲は10月24日、猪苗代小学校グラウンドで実施されました。

猪苗代、磐梯両消防団から参加した482人の団員たちは、猪苗代町役場を出発し中央商店街を行進した後、猪苗代小学校グラウンドに到着。通常点検、規律訓練や分列行進などをきびきびとこなし、防火の誓いを新たにしました。

また、長年にわたり消防団活動に尽力した団員らをたたえ、感謝状の贈呈や、功績章、永年勤続章、精勤章の表彰も執り行われました。

山頂で三角点の再設置を祝う

磐梯山頂に三角点が復活しました



三角点設置を記念して万歳三唱する参加者ら

磐梯山(1,819m)の三角点標柱復活を目指してきた猪苗代山岳会(江花俊和会長)と国土地理院東北地方測量部は10月16日、同山頂に新たな三等三角点「磐梯」の柱石を設置し、悲願の復活を祝いました。

三角点は三角測量などに用いられる基準点で、鉾山の山頂などに設置されるもの。明治37(1904)年に磐梯山山頂に設置された三等三角点「磐梯」は、昭和21(1946)年の調査以降は確認されていませんでした。

このため、同山岳会が創立50周年事業として、昨秋から同測量部に三角点の復活を要望。今年6月の現地調査を受け、再設置が認められました。高山の三角点の再設置は全国でも珍しく、東北では初めてのことです。

この日、強風と小雨に見舞われた山頂には約70人が集結。関係者たちが期待を込めて見守る中、2日に山頂へ運ばれた柱石や盤石などを、同測量部の職員たちが正確な位置や方角を確認しながら埋設しました。標柱南側には、再設置までの経緯を示したプレートも設置。標柱復活に喜びの笑顔があふれました。

続いて催された竣工式で江花会長は「おらが山に恩返しをしたかった。これからも登山者の安全確保や環境保全に取り組み、素晴らしい磐梯山を守っていききたい」と誓いました。

同測量部池田尚広測量課長は「磐梯朝日国立公園指定60周年の節目に復旧できてうれしい(噴火がなければ)一等三角点でもおかしくない素晴らしさ」とたたえました。



設置された三等三角点「磐梯」

自然あふれるコースで競う

第4回ジギスカップIN 磐梯高原



オフロードコースに挑む参加者たち

マウンテンバイクの第4回ジギスカップIN 磐梯高原は10月3日、磐梯南ヶ丘牧場特設コースで開かれ、329人がオフロードコースに挑みました。白熱した競技終了後は同牧場名物のジギスカンで交流を深めました。各部門優勝者は次のとおりです。

▶スーパーキッズ=弦巻亮汰▶キッズ=長谷川蓮▶ジュニアA=長谷川稔▶同B=中村暁蓮▶同C=積田連▶ガールズA=小林加歩▶同B=長谷川あい子▶ビギナーA=斎藤拓真▶同B=松本明▶同レディース=中村碧▶スポーツA=渡辺徹▶同B=佐藤哲也▶同レディース=中村千鶴▶エキスパート=有井雄二



楠 孝順さんに瑞宝双光章

従五位・瑞宝双光章の書状を伝達



町長から書状を受け取る楠さん(右)

故 楠孝順さん(三城瀧)への叙位・叙勲伝達式は10月12日、町役場で挙行され、故人に代わり出席した楠喜見子さんに津金要雄町長から内閣総理大臣名の書状が伝達されました。

津金町長は「この受賞は、教員として長年にわたり教育に貢献した功績が認められたもの。先生が亡くなったことは残念だが、叙位・叙勲は家族だけでなく、町にとっても名誉なこと」とあいさつ。楠さんは「故人は左を向いては学び、右を向いては教えた、教育に生きて人だった。本日はありがとうございます」と謝辞を述べました。

健康で幸せな社会の実現へ

学びいなどで高齢者福祉大会を開催



表彰を受ける古川秋夫さん・フユ子さん夫妻

第41回町高齢者福祉大会は10月19日、学びいなどで開催され、町内の老人クラブ会員ら約400人が出席しました。町老人クラブ連合会の戸田忠義会長が「健康で幸せな長寿福祉社会の実現に向けて努力しよう」とあいさつ。その後、しあわせ金婚夫婦表彰などが実施され、26組が表彰を受けました。代表として表彰を受けた古川秋夫さん・フユ子さん夫妻(白水会)は「長いようで短い50年でした。戦後でいろいろと苦労した時代でしたが、けがも病気もなく暮らしてこれたのは地域の皆さんのおかげです」と二人で顔を見合わせ、にっこりと笑いました。

夢と希望を与える走り誓う

ふくしま駅伝結団式が挙行される



力強く宣誓した五十嵐史朗主将



結団式で健闘を誓った本町チーム。前列中央が二瓶芳雄総監督(右)と五十嵐幸夫監督(左)



当日は32のゼッケンに熱い声援を

第22回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)に出場する選手団の結団式は10月23日、学びいなどで挙行され、選手、監督、コーチや来賓など合わせて約30人が参加しました。

式では、津金要雄町長が「志を高く持ち、県のトップを目指してタスキをつないでほしい」とあいさつ。鈴木武喜町議会議長が「われわれ町民は一丸となって選手の皆さんを応援する」と祝辞を述べました。

五十嵐幸夫監督は「昨年を上回るチームができた。ことしは町の部ベスト3を目指す」とあいさつした後、選手団の五十嵐史朗主将が「選手一丸となって、町民の皆さんに夢と希望を与える走りをする」と力強く宣誓しました。

税務署からのお知らせ

【問い合わせ先】 会津若松税務署 ☎(27)4311

相続または贈与等に係る生命保険契約や損害保険契約等に基づく年金の税務上の取扱いの変更について

このたび、遺族が年金として受給する生命保険金のうち、相続税の課税対象となった部分については、所得税の課税対象にならないとする最高裁判所の判決がありました。そこで、このような年金に係る税務上の取扱いを改めることにしましたのでお知らせします。これにより、平成17年分から平成21年分までの各年分について所得税が納め過ぎとなっている人については、納め過ぎた所得税が還付されます。お手数をお掛けしますが、必要な手続き(更正の請求または確定申告など)をしてくださるよう

お願いします。この取り扱いの変更の対象となる人や所得税の還付の手続きについては、国税庁ホームページ【www.nta.go.jp】をご覧ください。最寄りの税務署に問い合わせてください。

※平成17年分について、早い人は22年12月末が還付できる期限になりますので、早めに手続きをしてください。

※受け取った年金の受給権が相続税や贈与税の課税対象になる場合は、実際に相続税や贈与税の納税額が生じなかった人も対象になります。

美しい猪苗代湖を守りたい

湖北岸のヨシ刈り・ゴミ撤去作業を実施



美しさを取り戻そうと、清掃作業に励みました

猪苗代湖北岸のヨシ刈り・ごみ撤去作業(町、県、環境省ほか地元関係団体などの主催)は10月21日、町内堅田の湖岸で実施されました。この大規模清掃は今年で4年目。30の機関・団体から集まった約340人が、北岸から湖にそそぐ小黒川河口の両岸計700㍍で一斉に作業しました。

猪苗代湖の昨年度の水質測定結果(県実施)は大腸菌群数が過去最大を記録。11月に環境省が発表予定の全国湖沼水質ランキングでも、2年ぶりにランク外となる見通しです。参加者の皆さんは、美しい水環境を取り戻そうと、清掃作業に汗を流しました。